

東榛原まちづくり協議会(宇陀市)



年1回実施している防災訓練=5月26日、宇陀市榛原赤瀬の市立東榛原小学校(東榛原まちづくり協議会提供)



防災訓練で行われた炊き出し=5月26日、宇陀市榛原赤瀬の市立東榛原小学校(東榛原まちづくり協議会提供)

会は平成25年4月に設立。宇陀市榛原地域北東部の17自治会で構成し、「住みよいまちづくり」「安心・安全なまちづくり」を目標として活動している。



宇陀市榛原地域北東部地



域への灾害に対する意識を高め、防災・減災活動を実施する。今後もこの取り組みを継続してまいります。

防災体制を強化し自衛

新 嶺夫会長

地域では大きな土砂災害や河川被災はなく、問題は予想される南海トラフ地震など大地震への対応に天満台団地など住宅密集地域の防災・消防体制をため、防災インフラの整備や各自主防災組織の連携など、自分たちのまちは自分たちで守るを基本とするルケースとして取り組んでいきたい。

往 来 23日

嚴かに響く和の音色

「九品寺雅楽
こども教室」

聖徳太子の月命日の22日、御所市の九品寺雅楽「こども教室」のメンバーと保護者計30人が雅楽の奉納演奏を明日香村橋の橋寺で行つた。

明日香の橋寺

太子に雅楽奉納

同教室は、雅楽を若い世代に継承しようと、同市榛原の九品寺を拠点に、同寺の清水良彦住職らが小中学生らの指導をしている。奉納は、令和3年の太子1400年御恩忌を前に、太子誕生の地とされる橋寺で報恩感謝の勤めとして企画された。

本堂(太子殿)での奉納では念仏の後、古式ゆかりぬとして企画された。演奏後、橋寺の高内良輔住職は「聖徳太子は自身も尺八を吹き、雅楽を日本に取り入れたとされる。太子

からも雅楽を楽しんでほしい」と結ばれた縁を感じ、これ

とおしゃったが、雅楽もそれぞれの楽器がそろつて初めてハーモニーが生まれる」と語った。同教室で4年目の同市立御所中学1年の西優之介さんは「雅楽を通じて自分の国の文化に触れるのが楽しい」と話した。

試合開始を前に整列する外国人実習生ら=5月22日、五條市三在町の阿田峯公園



中央技術交流協同組合がサッカー大会

外国人技能
実習生ら

試合を通じて絆深める

外国人技能実習生の共同受け入れや職業紹介を行う、中央技術交流協同組合(王寺町、代表理事・吉岡弘、修葛城工業代表)のサッカー大会が

吉岡代表理事は「顔を合わせるのは入国時の研修以来という実習生も多いと思う。交流を深めてくれたら」と話した。

大会は4チームが、15分ハーフのリーグ戦で優勝を争った。各チームには少年サッカー「ブルジエンテ桜井」のメンバーが加わり、一緒にボールを追って親交を深めた。

大会は4チームが、15分ハーフのリーグ戦で優勝を争った。各チームには少年サッカー「ブルジエンテ桜井」のメンバーが加わり、一緒にボールを追って親交を深めた。

雅楽を奉納する子供たち=22日
日、明日香村橋の橋寺

